

平成30年度 佐賀県立杵島商業高等学校(佐賀県立白石高等学校商業科キャンパスを含む)学校評価計画

1 学校教育目標 「生き抜く力」を育む指導をとおして、生徒一人ひとりの優れた資質を伸ばし、経済社会の発展に寄与する有意な人材の育成を目指す。	2 本年度の重点目標 「想いを力に～あたりまえ+α～」をスローガンとして、以下の6つの重点目標の達成を目指す。 ① 綺麗で安心な学校づくりに学校全体で取り組み、地域に愛され、地域に信頼される。 ② 生徒の夢を育み、成長させ、夢の実現のためにベストを尽くす態度を養う。 ③ 授業や部活動などを通して、確かな学力と失敗を恐れずチャレンジする心を持った、心身ともに逞しい生徒を育成する。 ④ 規範意識や自尊感情を高め、自分と他人を愛する心を育む。 ⑤ 国際社会で活躍できる、広い視野を持った生徒を育成する。 ⑥ 校舎制による円滑な学校運営を実施する。
--	--

3 目標・評価

① 綺麗で安心な学校づくりに学校全体で取り組み、地域に愛され、地域に信頼される。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	教育相談体制の充実	・クラスに馴染めない生徒や問題を抱えた生徒の支援を充実する。	・スクールカウンセラーと協力体制を取りながら、教員間の共通理解を図る。 ・担任会、ケース会議等で情報を共有し、支援体制を整える。
	●いじめ問題への対応	いじめの早期発見・対応	・いじめの防止と早期発見に努め、いじめのない学校生活を目指す。	・いじめアンケートを学期1回実施し、情報の共有化を図る。 ・教育相談を年2回実施し、積極的な生徒理解に努める。
	○ボランティア精神の育成	地域や社会での活動による豊かな人間性の育成	・ボランティア清掃活動を通して、地域社会の一員として美化活動に積極的に取り組み、個人の豊かな人生と新たな「公共」による社会を目指す人間の育成	・1、2学期に実施されるボランティア清掃活動で地域や通学路や最寄り駅周辺の清掃活動を実施する。

② 生徒の夢を育み、成長させ、夢の実現のためにベストを尽くす態度を養う。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	わかりやすい授業の実践	・わかる授業のための指導方法の改善や工夫に努め、実践する。	・少人数指導や習熟度別指導などを取り入れ、個別指導を充実させる。 ・6月と11月を「授業力向上月間」として、他の教員の授業を2回以上参観し、意見交換を行う。
		学習効果を高めるICTの活用	家庭学習で使えるデジタル教材を生徒に配布する。	生徒に配布してよいデジタル教材を、授業担当者から提供してもらい、学習ネットワークに置く。
	○進路指導	勤労観・職業観の育成と進路意識の向上	・フリーターをつくらない。 ・内定率100%	・業者の企画等も入れながら、学年に応じた内容を計画する。 ・学期ごとに進路希望調査を実施する。
キャリア教育の充実		・3年間を見通したキャリア教育を推進する。	・3年次授業において現場実習を取り入れることで、学習の深化を図り、将来のスペシャリストの基礎づくりを行なう。 ・外部講師の講義により、専門分野の業界状況を把握させるとともに、社会で求められている人材を理解させ実践させる。	
学校運営	○進路指導	進路指導体制の充実	・進路実現に向けた支援を充実させる。	・進路面談、進路希望調査等から得た情報や模試、適性検査の結果を担任団と共有し、生徒への指導・助言等の充実を図る。 ・企業訪問や作文指導、面接指導等に進路以外の先生方にも関わっていただくことで、本校生が身に付けていかなければならない力を実感して頂く。 ・「進路の手引き」を発行することで、本校生の進路状況や進路実現までの流れや手続き等の情報を提供する。 ・キャリア教育講演会等の情報を提供する。

③ 授業や部活動などを通して、確かな学力と失敗を恐れずチャレンジする心を持った、心身ともに逞しい生徒を育成する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	基礎学力の定着促進	・日々の学習習慣を身につけさせる。	・「朝の学びの時間」(10分間)で、中学校内容の学び直し教材からスタートし、授業内容ならびに進路対策につなげていく。
	●健康・体づくり	望ましい生活習慣の形成	・疾病予防や健康の保持増進を理解し、自ら実践できる能力の育成に努めさせる。	・健康診断で健康状態を把握しながら予防・受診の指導を行う。 ・保健だよりの発行、保健講話を実施し健康に関する知識を習得させる。
	●心の教育	心の健康づくり	・心と体の健康維持のための助言・支援を行う。	・全校集会などで命の大切さや思いやり等をテーマに指導する。
	○部活動の充実	部活動の活性化	部活動の活性化と強化を図り、心身ともに健全な生徒を育成する。	・部活動を通して挨拶や礼儀作法、マナーを身につけさせ、充実した学校生活を送れるように指導にあたる。 ・新入生に対し部活動紹介を実施し、全員部活動入部を奨励する。

④ 規範意識や自尊感情を高め、自分と他人を愛する心を育む。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	思いやりの心の育成	・互いを尊重し、自他を大切にしたい思いやりの心を育成する。	・挨拶の励行 ・日々の授業やSCによる演習等で、コミュニケーション力を高める態度や姿勢を育てる。
	○生徒指導の充実	端正な服装・頭髪	・服装や頭髪を整える意味を理解させる。 ・新白石高校の制服の着心地等について考察する。	・月一回の服装頭髪指導を実施する。 ・学年との連携(学年主任との意見交換) ・再検査および継続指導の徹底。(個別指導) ・制服の着心地等についてのアンケート実施(3学期)

⑤ 国際社会で活躍できる、広い視野を持った生徒を育成する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○異文化交流	異文化への興味・関心	・異文化に対する興味・関心を持ち、姉妹校である青岩高校と交流の充実を図る	・青岩高校(韓国)への訪問を継続し、実際に現地の高校生との交流を通して異文化を理解する
	○グローバル人材の育成	海外との交流に向けた取組	・姉妹校への訪問に向けて、異文化を理解する	・事前に語学研修やテーマに沿った調べ学習などを実施する。

⑥ 校舎制による円滑な学校運営の実施

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●高校再編	授業の円滑な実施	・職員減と出張等による自習時間をなくす。	・出張予定を速やかに把握し、時間割の振替に反映させる。
		学校行事の円滑な実施	・両キャンパス合同の学校行事を円滑に実施する。	・合同行事の計画を早めに作成し、2週間前を目途に職員に周知する。 ・合同行事終了後、反省会等を開き、次年度に活かしていく。
		部活動の円滑な実施	・部顧問が練習に行ける環境をつくる。(特に夏場) ・普通科キャンパスから商業科キャンパスへ来やすい環境をつくる。	・公務など多忙な仕事を抱えて部活動の指導ができない先生方の負担を幾分か軽減させるために、校務分掌や学年で仕事の分担をする。 (熱中症対策) ・スクールバスの円滑な運行を目指し、事務部とも協議しながら、実績を踏まえて検証を行い、改善に活かす。
学校運営	校務分掌等の円滑な実施運営	・これまで検討してきた学校管理規定や内規を踏まえ、学科の特色を生かした校務分掌運営を実施する。	・両キャンパス間の情報共有を図り、より円滑な分掌運営を図るために分掌ごとに検証を行い、必要な見直しを実施する。	
	校舎間移動の円滑な実施運営	・年間計画に沿った行事及び部活動等に係る校舎間移動を実施する。	・学校行事等3回及び授業日の部活動に係る生徒移動用のバスを運行について、定期的の実績を検証し、次年度の運用に活かす。	

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学運校営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	教職員の働き方に対する意識改革の推進	・長時間勤務の軽減を図り、業務の平準化を目指す。	・週休日の部活動公式戦については、可能な限り振替を実施する。 ・定時退勤日を設定し、実施の徹底を図る。 ・業務の偏りをチェックし、必要であれば年度途中でも見直しを行う。

●は共通評価項目、○は独自評価項目